

5 齡蚕の発育段階判定マニュアル  
「ぐんま200」編

群馬県蚕糸技術センター



## はじめに

養蚕において、蚕の眠起、熟蚕などの見分け、桑付け、網入れ、上蔭など作業適期を判断することは基本的なことですが、初心者が習得するには、ある程度の経験が必要となります。

蚕の飼育作業計画は、一般的に飼育日数を基準に立てられますが、蚕の成長速度は飼育温度や桑葉質に影響されやすいので、蚕期や飼育場所によって異なります。令和元年に群馬県蚕糸技術センターで飼育した群馬オリジナル蚕品種「ぐんま200」の給桑量と5齢蚕体重の推移は図1～3のとおりでした(給桑量は蚕を飽食させる条桑量で、1頭あたりの換算値です)。

初秋蚕期のような高温時は、成育期間が短く、熟蚕前の食桑量の減退が明確ではありませんが、気温が低いと成育期間が長くなり、食桑量の減退から熟蚕発生までに時間の余裕があります。

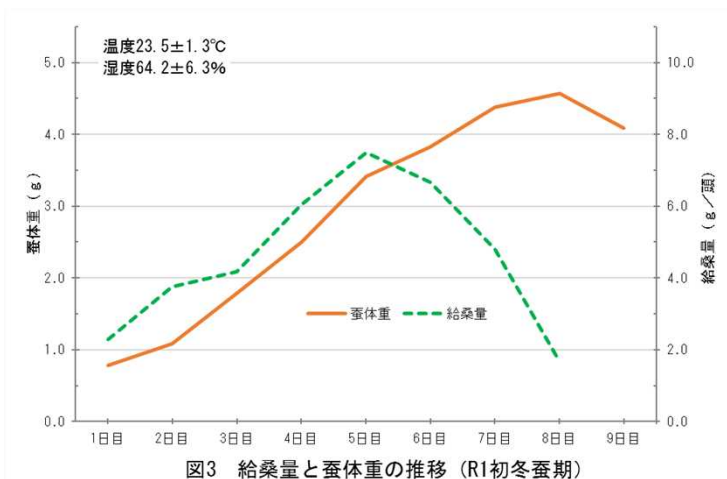
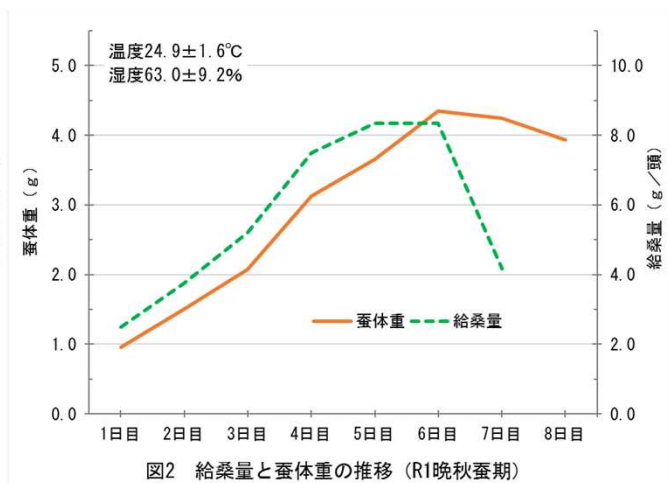
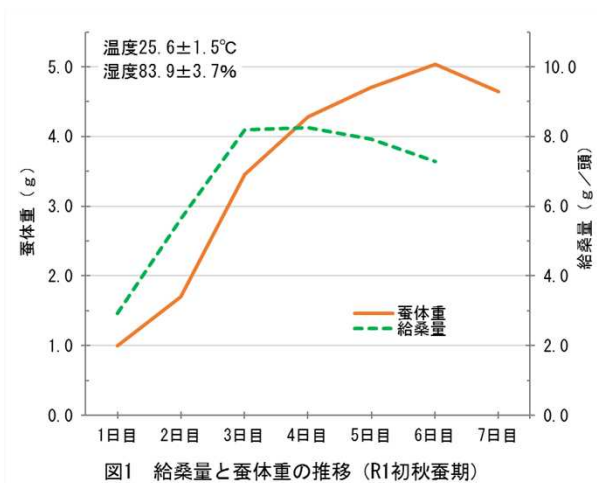
そこで、本資料では、「ぐんま200」の発育段階について、桑の食べ具合や外見を主な基準とし、次のとおりに区分して掲載しました。

5齢初期：脱皮して体色がやや茶色っぽく、食桑量の少ない時期。体長5cm未満、体重2g未満の頃。

5齢中期：体色が白っぽくなり、徐々に食桑量の増す時期。体長5～6cm、体重2～3.6gの頃。

5齢盛食期：著しく食桑量の多い約3日間。体長6cm超、体重3.6g超の頃。

5齢末期：桑を食べなくなり、上蔭(営繭)する時期。熟蚕。



## 目 次

1	4 眠蚕と 5 齡起蚕	…… 1
2	5 齡初期（体長5cm未満、体重2g未満の頃）	…… 2
3	5 齡中期（体長5～6cm、体重2～3.6gの頃）	…… 4
4	5 齡盛食期（体長6cm超、体重3.6g超の頃）	…… 6
5	5 齡末期（熟蚕）	…… 11

## 1 4眠蚕と5齡起蚕



- ・4眠蚕は頭部が小さく、頭部のすぐ後ろに△模様があり、体色が白っぽく見える。
- ・5齡起蚕は頭部が大きくなり、体色が少し茶色っぽく見える。

※ 起きそろうまでは23℃前後の適温保持に努める。

※ 起蚕から24時間程度は絶食させても問題ないが、あまりに長時間を要する場合には、蚕の体力消耗につながるので、早口、遅口につり分けて飼育する。

## 2 5 齡初期



・体長5cm未満、体重2g未満の頃を「5齡初期」とした。飼育経過としては、5齡桑付けから2日目頃までが目安となる。

※桑付けは、蚕がよく起きる、動きが活発になってきた頃に行う。(蚕座中の乾いた桑葉をカリカリと食べる音がしてくる)

※桑付け～3回目くらいまでは、柔らかめの桑を与える。

## 5 齡初期



・茶色っぽかった体色は、成長とともに白っぽくなっていく。

※この時期の食桑量は多くないので、桑の食べ残しが多くなるよう注意する。

### 3 5 齡中期



・体長5～6cm程度、体重2～3.6g程度の頃を「5齡中期」とした。飼育経過としては、5齡3日目から4日目頃が目安となる。

・体色は白っぽくなり、腹部の節間が青っぽく見える。



## 5 齡中期



※5齡期は食桑量の増加とともに排泄量が増し、蚕座や空気が汚れやすいので、作業が忙しくなる前のこの時期にも除沙しておくとい。

## 4 5 齡盛食期



・著しく食桑量の多い「5齡盛食期」は、体長6cm超、体重3.6g超となる。飼育日順としては、5齡5日目から7日目頃までが目安となる。

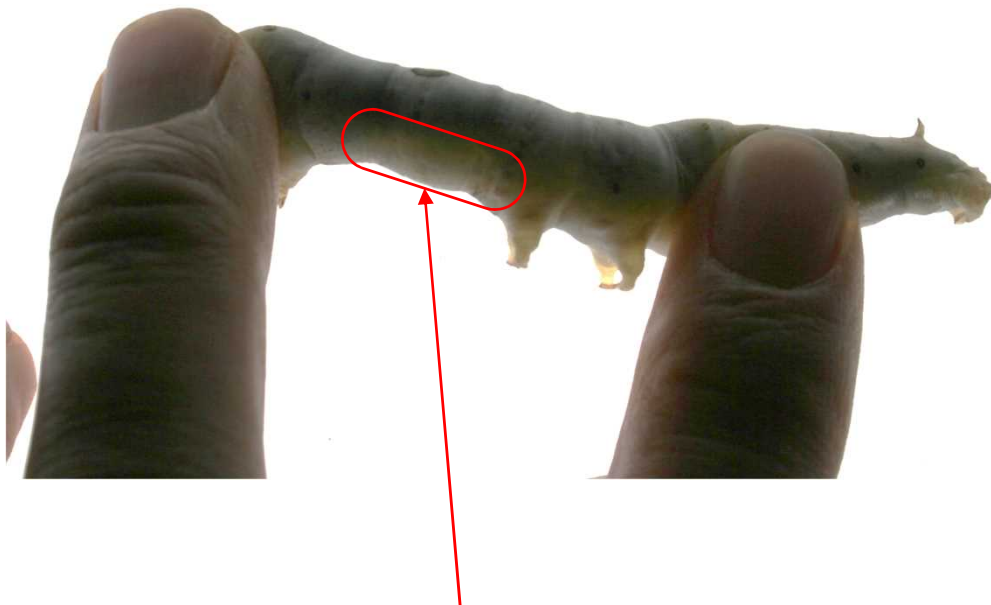
※桑不足や温度管理に注意するとともに、積極的な換気が必要となる。

## 5 齡盛食期

- ・蚕の成長とともに皮膚が張っていき、手で触れると皮膚の張りと体の丸みを見て取れる。



- ・尾脚付近を指でつまむと、糞の塊を感じることができるので、その軟らかさをチェックする。通常、5齡盛食期はじめ頃は、糞の水分が少なく硬いが、熟蚕に近くなると、糞の水分が多くなり柔らかくなる（桑の水分量によっても変わってくる）。



- ・5齡盛食期は絹糸腺が発達するので、光に当てると腹部の脚側が透けてくる。

5 齡盛食期



## 5 齡盛食期



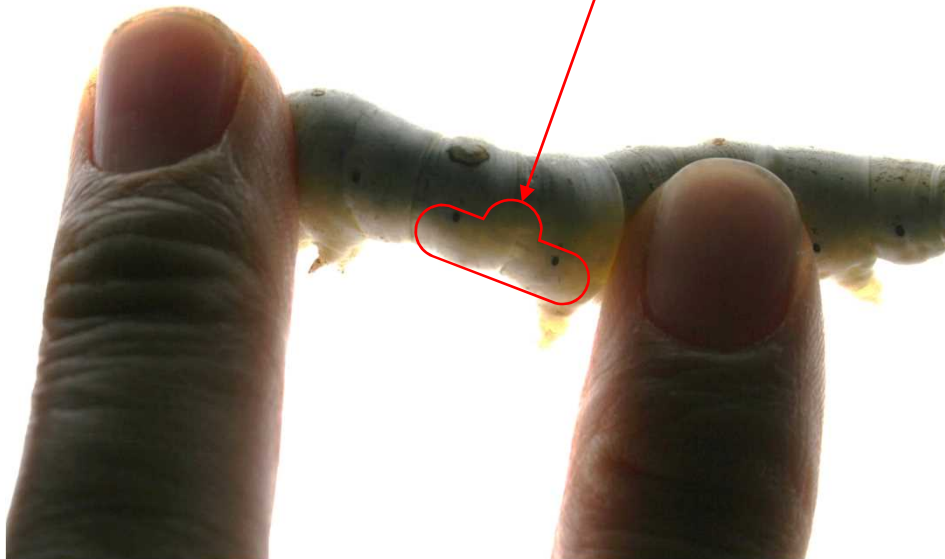
・5齡盛食期も終盤になると、食桑量が落ちてくる(熟蚕に近づく)。

## 網入れ（上簇ネットの敷込み）時期の目安

上簇前の網入れのタイミングを見極めるのは難しく、その判断基準は飼育者により様々です。

比較的わかりやすい例をあげると、次のような条件となる時期なので、これらを目安に蚕座を平らにして上簇ネットを敷き込み、給桑（横並べ交互給与）を行う。

- ① 食桑量がピーク時を過ぎ、やや落ちてきた。  
※ 高温時は、食桑量が落ちてすぐに熟蚕発生する場合がありますので、少なくとも5齢盛食期に入っていること。
- ② 糞の排出量が増えるので、蚕室内が臭ってくる（または蚕室の臭いが変わる）。
- ③ 尾脚付近を指でつまむと、糞が柔らかくなっているのを感じる。
- ④ 光に当てると、第2腹節と第3腹節の間で、気門の付近まで透けて見える。



## 5 5 齡末期（熟蚕）



- ・熟蚕になると、桑を食べずに葉の上に這い上がり、頭部を持ち上げたり、糸を吐いたりする。早く熟蚕になったものは、葉や条の間で繭をつくってしまう。
- ・熟蚕の糞は柔らかく、蚕体は胸部から第2腹節（半月紋のある節）辺りが透けて見えやすい。

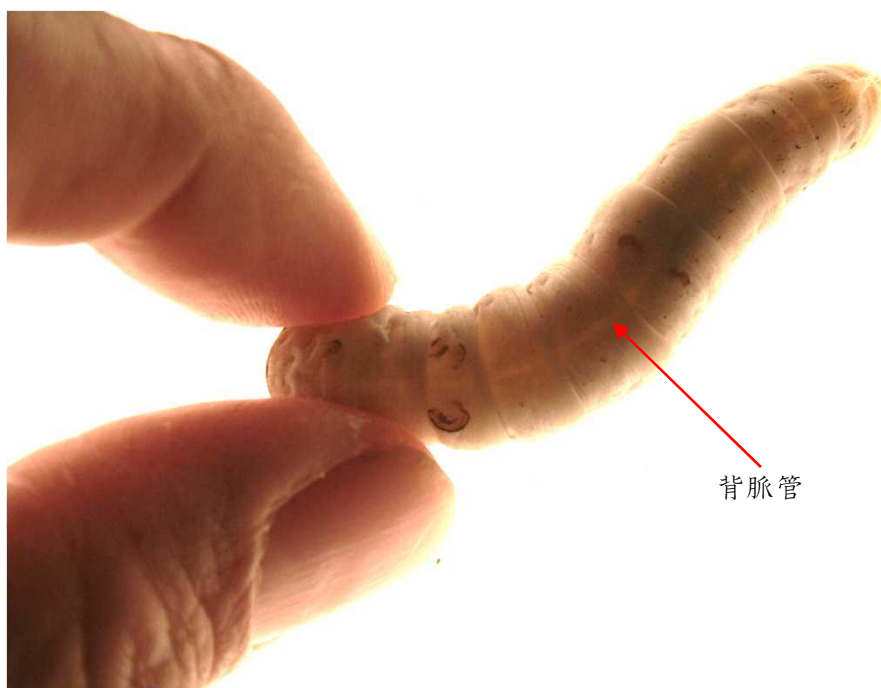


- ・頭部を持ち上げてなくても、蚕体がやや縮んで丸みを帯び、体色がやや黄色みがかっていれば熟蚕になっている。
- ・条払い上簇では、初熟蚕を1割くらいを手拾いし、さらに残った蚕の3割くらいが熟蚕になった頃、払い落としにかかる。

## 5 齡末期（熟蚕）



・熟蚕を光に当てると、第2・3腹節間に続き、第1・2腹節間も気門のあたりまで透ける。



・糞尿を排出すると、背脈管まで透けて見えるようになる。この頃には上蔭を済ませる。



